



平成 25 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
(J A S D A Q ・ コード番号 2694)
問合せ先 執行役員管理本部長 岩崎 友也
(TEL. 022 - 762 - 8540)

平成 25 年 3 月期通期業績予想との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 25 年 2 月 14 日付当社「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました業績予想と実績値に差異が生じたので下記の通り修正いたします。

また、特別損失の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値と実績値の差異 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,601	707	691	488	6.56
実 績 値 (B)	15,503	774	730	127	1.72
増 減 額 (B-A)	▲98	66	39	▲360	—
増 減 率 (%)	▲0.6	9.4	5.6	▲73.8	—
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	16,901	1,172	1,120	794	11.55

2. 修正理由

当事業年度におけるわが国の経済環境は、第 4 四半期以降は政権交代後の経済政策 (いわゆるアベノミクス) により円高修正・株価回復傾向が顕著となり景況感に明るい兆しが見えてきましたが、第 3 四半期末までは欧州各国の金融不安や海外景気の減速懸念などを背景に総じて弱含みで推移いたしました。

このような状況のもと、当社では収益力改善のため新業態店舗の展開や不振店舗の整理、業態転換等による既存店の強化をすすめるとともに、フランチャイズ部門の強化や経営の効率化を図り業績向上に取り組んでまいりました。各事業ではメニューやキャンペーン企画を工夫強化し、お客様満足度の向上と集客増加に努めてまいりましたが、固定資産等の減損損失や課徴金納付命令の勧告に伴う課徴金等を特別損失に計上したことから、当期純利益は前回発表の予想を下回る業績となりました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高 155 億 3 百万円（前回予想比：98 百万円の減少）、営業利益 7 億 74 百万円（前回予想比：66 百万円の増加）、経常利益 7 億 30 百万円（前回予想比：39 百万円の増加）となり、当期純利益は 1 億 27 百万円（前回予想比：3 億 60 百万円の減少）となりました。

3. 特別損失の計上

当事業年度においては、特別損失として 492 百万円を計上いたしました。主なものは、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性が低下した一部店舗の減損処理及び時価下落による保有不動産の減損損失 315 百万円、課徴金納付命令の勧告に伴う課徴金等 130 百万円、不振店舗の閉店に伴う店舗閉鎖損失 41 百万円によるものです。

以 上